

地域で支えあうまちづくり懇談会 (H30.1.23 サンヒルズ甲西)

「A グループ」

<高齢者 移動支援>

- ・運転免許返納後の交通手段、通院、買い物等
- ・買い物、通院難民救済、デマンド交通
- ・高齢者のお出かけ（買い物）
- ・車の運転できない人が多い
- ・生活支援、特に移動支援に対する方策が見えない
- ・病院の通院に困っている人がいる
- ・一人暮らしになった方の交通の便が、困っている方がいる

<外国人の地域参加>

- ・外国人住民の地域への関わりについて
- ・外国人のマナー（犬のフンの問題）

<子供支援>

- ・子供の安全確認
- ・夏になると中学生が遅くまで公園にいるのを見かける、冬でも完全下校の6時を過ぎても見かけることがあり心配
- ・子育て中のママさんのコミュニケーションの場所
- ・保育園に入れない

<生活支援>

- ・高齢者の日常生活について
- ・ゴミ出しのお助け
- ・高齢者のゴミ出し
- ・ゴミ出しが出来ない人がいる
- ・生活支援に対する支援方法、支援基準が地区によりまちまち
- ・老人宅の掃除

<防災>

- ・避難行動要支援者の個別計画の作成が遅れている

<つきあい・見守り>

- ・高齢者一人世帯になると独立する
→自治会も退会
- ・一人暮らしが多い（女性の高齢者：平均年齢 65 歳）
- ・独居老人の見守り
- ・近所付き合いが少なく、助け合いができてにくい
- ・実家が遠く、支援を受けられない人が多い
- ・移住者が多く、横のつながりが少ない
- ・2世帯住人が少ない

<話し相手（孤立化を防ぐ）>

- ・引きこもりを抱える家族への寄り添い
- ・いろいろな企画をしても出てこない人をどうするのか
- ・困ったときに困ったと言っているのかな？
- ・近隣トラブル
- ・話し相手

<健康づくり、新しい人に参加>

- ・高齢者の運動している数が少ない（100歳体操にも少ない）

「B グループ」

<高齢者>

- ・高齢者に対する共助の体制が遅れている
- ・高齢化の進行が早い、団塊世代が多く、一挙に
- ・助けを有する人が申し出が少ない（見栄と恥ずかしさ）
- ・高齢者世帯の方で、地域の方々とのふれあいが少ない方（外に出られない方）が心配です
- ・高齢者が年々増加（団地ができて30年以上経過）独居者も増えた
- ・一人暮らしの方の生活をどう支えていけるのか、本人たちが何を本当は望んでいるのか
- ・まちづくり協議会を担っている方々の高齢化
- ・各組で高齢者が多く、組長等の役職が負担になっている
- ・いろんな活動に男性高齢者の参加が少ない
- ・高齢者（一人暮らし）の日常の見守り
- ・在宅で看取ってもらいたいと思っても医者がない
- ・他のエリアから医者が協力するなどのネットワークを作ってもらいたい
- ・(水戸)中心に相談センターがあれば良い、相談は何でもOKにする

<交通>

- ・高齢者の足の確保（買い物、病院他）
- ・車の運転が出来なくなる時の対応はどうなるのだろうか
- ・高齢化社会に向けて買い物難民手だてはあるのだろうか

- ・病院等に出かけていく手段に困っているとの声をききます
- ・駅が遠く、医療機関へ行くバスが限られている
- ・今後高齢化し、足腰が弱くなったら、受診、買い物などに行けなくなる恐れがある、外出の機会が減る

<子育て>

- ・外国籍の人が多く、生活第一で子供のほったらかしがある
- ・幼稚園に入所で願書提出するのに前日から並ぶ状況（昨年）

<市>

- ・いろいろな福祉の制度が市民に認知されていない
- ・お年寄りとお花見に行きたい、市からバスの提供を受けたいが今は無いらしい、どうして？
- ・朝食を食べない子供たちは放ったままになっているのか市からは指導とかは無いのか？
- ・研修でしかバスは市から貸してくれない（水戸学区に限らず）

<病院>

- ・夜間受診してくれる医者が地域にいない
- ・病院が近くに足りないと思う
- ・朝と夕方のバスはそのまま昼の空のところを病院などの要求に合わせて運行
- ・通院の足（バス）が少ない（甲賀病院直行のバスがない）

「C グループ」

<若者世代の悩み>

- ・自分自身で精一杯で他人（家族）を思いやれる気持ちが少なくなったように思う
- ・子育て世代、両親が忙しく子供の居場所が少ない
- ・子供の生活習慣や学力＝経済力の安定

<地域の課題>

- ・近所付き合いが少なくなっている
- ・集合住宅の方とのコミュニケーションが出来ない
- ・災害時要支援者について
- ・自治会活動のむずかしさ
- ・役員のなり手がいない
- ・まち協、自治会、子供会など熱心に活動しているが、同じ人がいろんな役をしていて、次の世代につないでいけるか不安、住民の温度差
- ・近所のつながりがない
- ・隣近所の付き合いが少ない
- ・気軽に集まれる居場所づくり
- ・少しの支えでその人の生活を支えられるが、それをだれが担うか、高齢者のゴミ出しなど
- ・犬のフンが多い、ゴミのポイ捨てが多い
- ・ゴミ屋敷問題

<交通手段>

- ・マイカーに乗らない人（高齢者、免許ない）の通院、買い物
- ・外出の足がない交通手段
- ・交通が不便
- ・交通手段が自家用車主体

<高齢者の悩み>

- ・高齢者の居場所づくり
- ・8050 問題、高齢の親とその子世帯に関わる問題、親の収入で生計を立てているが親が亡くなれば...
- ・いきいき広場や 100 歳体操そして後のパン、コーヒー等の会食等ボランティアの人がしてくださり高齢者の横のつながりは出席している方々にはできています。けれど、今まさに日本の政状ですが、車社会のため隣の人と話す機会がとて少なくなりました。
- ・高齢者の一人暮らしの人のゴミ

<要望>

- ・市出張所の復活
- ・民生委員さんたちも家の中のプライバシーまで入れないため、難しいので隣の人との関わりが非常に難しい

「F グループ」

<災害>

- ・高齢者が多くなっているが、災害時どう対応できるのか

<生活環境>

- ・車椅子にて家から外に出れない（道路の段差が大きい）

<一人暮らし>

- ・体調不良時、どう対処できる？
- ・朝、夕は家族がいるが、昼間一人になり不安、持病のため

<老老介護>

- ・老老介護が目に見えている（夫婦2人の生活）

<健康>

- ・高齢者になると気力、体力、知力の衰えの復活方法？

<日常生活>

- ・食事のしたくが出来ない
- ・家のまわりの整理（草引き、掃除）

<高齢化が進んでいる>

- ・要援護者が増加している
- ・高齢化が進んでいる

<自治会運営>

- ・地域組織の維持が難しくなっている
- ので、活動に支援をきたしてしまっている
- ・区の自治会の組織等順番制に高齢になって免除を公に

- ・私は77歳ですがいろいろと話をすることがなんとなく出来ないある人の名前を書くのに大変困るので

<移動手段>

- ・病院につれてもらう人がいない
- ・買い物等外出時乗り合いタクシー等試用、試乗あれば？
- ・買い物に行きにくい
- ・地域の食品店がない（高齢者にとって）

<コミュニケーション>

- ・健康づくりグループで活動されているが、なかなか輪の中に入りづらい
- ・年を取ると今までと同じように話が出来なくなることが多いので話友達が遠のく
- ・話し相手が少ない

<個人情報>

- ・地域が家庭にどこまで入れるのか
- ・介護サービスを受けることを嫌がる

「Gグループ」

<健康不安（高齢者の悩み）>

- ・健康活動
- ・介護問題
- ・認知症問題
- ・パソコン&スマホを活用して認知症予防を図ろう
- ・通院等で家庭が苦しい
- ・老老介護、将来不安高まる
- ・認知症の兆しが分かる方法が知りたい
- ・引きこもり
- ・認知症の不安、介護対象者への不安が多い

<介護、年金等の手続きの簡素化>

- ・要介護認定の申請手続き
- ・年金等の手続きが複雑で困っている、相談する人が身近にいない

<日常の交通手段>

- ・車が運転出来なくなった時の後が怖い
- ・車の運転が出来なくなった
- ・住宅地、坂が多くバス停まで歩くのがつらい、住宅内で手上げで停めてほしい(乗車)
- ・通院に足がない

<高齢者施設>

- ・老人ホーム
- ・老人ホーム入所待ちの数が多い
- ・老人ホームの充足率が低いのでは

<地域とのつながりが希薄>

- ・高齢になって相談する人がいない
- ・自治会活動（高齢化、現役）

- ・高齢化によって区、自治会から抜ける
- ・堂の城区、現役世代が多く区長や民生委員のなり手がいない
- ・新興住宅なので近所付き合いは少なく、区の行事は参加者が少ない
- ・自治会活動は重要だと思うが、区長の業務は煩雑すぎるのでは？
- ・現役世代でも区長は出来るのか
- ・福祉活動に参加する日人が少ない
- ・ボランティア不足

<一人暮らしの課題>

- ・一人暮らしの不安
- ・掃除、清掃
- ・一人暮らしの不安が増加した
- ・庭の清掃、木の剪定が出来なくなった
- ・ゴミの分別が出来ていない
- ・ゴミ出しのモラル低下
- ・一人暮らしの人に対し、自治会として具体的に何をすべきか？
- ・独居暮らし問題
- ・昼間に高齢者が一人になっている、家族がいるので手を出しにくい

「H グループ」

<高齢者の生活問題>

- ・ 独居高齢者の生活支援（買い物、ゴミ捨て、家の修理等）
- ・ 高齢者の買い物
- ・ 生活困難と思われる高齢者の把握とそのフォローの仕方
- ・ 一人暮らしの高齢者の生活のフォローの方法
- ・ 老老介護の増加
- ・ 高齢者の移動手段（交通面）
- ・ 買い物、病院の今後
- ・ 増加傾向にある高齢者のフォロー前歴のある
- ・ 認知症の方の増加と若年化
- ・ 災害について
- ・ 核家族になり高齢者のみの世帯が多い
- ・ 後期高齢者の増加
- ・ 高齢者などを含め地域での独立の問題

<自治会組織>

- ・ 独居高齢者の増加で自治会の運営が困難
- ・ 自治会の存続
- ・ 役員のなり手が少ない
- ・ 高齢者だけの世帯が増え、組長、副組長を3，4軒回さなければならない

<少子化>

- ・ 若者の流出
- ・ 子供の減少による子供会の活気の衰退

<若者の未婚>

- ・ 単身家庭の増加
- ・ 婚活の問題

<引きこもり>

- ・ 今問題になっているのは引きこもり者の高齢化
- ・ 引きこもり障がい者の保護者の高齢化（子のサポート）

<その他、環境の問題>

- ・ スーパー等へバスで行くのに本数が少ない
- ・ 不審者の増加
- ・ 地区、組内での懇談会、会議を多く
- ・ 車に乗る人が増えて路上駐車が増えている
- ・ 地域の問題、地区や町内で親見が出来る場所
- ・ 子供を通して親同士のつながり
- ・ 地域性の格差

「I グループ」

<貧困>

- ・ 貧困児童への対処法
- ・ 学校の先生に報告

<子育て>

- ・ 核家族化した家庭での子育て問題
- ・ 心がすさんでいる人が多い

<介護>

- ・ 男性介護者が増えている

<多文化>

- ・ 外国の移住者が増えている
- ・ 外国人とのコミュニケーション

<高齢化>

- ・ 一人世帯が多く今後に不安があり（足の問題）地域での障がい者が不明
- ・ 一人暮らしや高齢者が買い物に行けるスーパーが遠い（移動手段がない）
- ・ 要支援対象の人が増えている
- ・ 一人暮らしの人介護サービスだけでは在宅を支えきれない
- ・ 独居高齢者世帯の増大
- ・ 高齢者の一人暮らしや高齢者世帯の日常生活の困り事
- ・ 高齢者のみの世帯数が増加している
- ・ 高齢化が進んでいる

<担い手>

- ・ 老人が多いため役の担い手がなかなかいない
- ・ 役員等の担い手が少ない
- ・ 民生委員が少ない

<コミュニティ>

- ・ 無関心層が増えている
- ・ 老人会（わかば会）活動で感じることはいつもメンバーが決まっていて、非常に楽しくやっているのに、集まってこない人、誘っても来ない人をどうしたら良いのか
- ・ 老人会（わかば会）と町内会（若い人たち）とのコミュニケーションが、また考え方が違って、なかなかまとまりにくい気がする
- ・ 区、自治会に加入していない高齢者は地域でもわからない
- ・ 最近特に感じることは同じ区の中で死亡者があっても、なかなか道向かいの家の人も知らなかったということがあった

<施設>

- ・ 集会所が狭く、集まる人が限られる

<地域環境>

- ・ 夜道が暗い（街灯が少ない）

<医療環境>

- ・ 近くの医院は住診してくれないため遠くの医院に依頼

<防災>

- ・ 災害時避難場所がない（風水害）